平成２９年８月吉日

関係者　各位

平野地区子どもを育む会実行委員長　斎　藤　等
福島市立平野小学校校長　佐藤博英
福島市立平野中学校校長　渡辺康弘

平成２９年度　第２０回「平野地区子どもを育む会」について（御礼）

盛夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日開催しました「平野地区子どもを育む会」におきましては、ご多忙のところご参加いただき、また多くの貴重なご意見を賜り厚く御礼申し上げます。

つきましては、各グループにおける開催結果の概要を下記のとおりご報告申し上げます。

「育む会」は今年で２０回の節目の開催となりました。

今回実施しましたアンケートについても、たくさんの方のご協力に感謝いたします。

皆様から賜りました貴重なご意見につきましては、学校・家庭・ＰＴＡがそれぞれの役割分担を明確にし、必要に応じては関係機関と協議させていただき、より良い方策について検討を重ねて参る所存であります。

今後とも引き続き、夢と志をもった平野の子ども達を育む為の活動に、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

１．参加人数

地域の方々	５２名		
保　護　者	８３名		
教　職　員	３５名	合計	１７０名

２．意見の概要

【Ａグループ：明神町・飯塚・平塚・道下団地・明塚町内会】

・子供が遊ぶ場所がない。
・校庭の利用に何か制限があるのか？　⇒　特に制約はない。（佐藤先生）
・交差点で一輪車で遊んでいる。学校で注意しているのか？
・子供が外で遊ぶ機会が増えている。事故・苦情が心配。
　地域で気付いたら声掛けをすることの重要性。
・危険個所は特にない。
・学校で子供達に注意する際、全体として話をしている。受けている子供達は、自分の事として思えていない。地域・親が都度注意していく事が必要。

【Ｂグループ：大和田・稗原・天王下町内会】
・通学路以外の道を通って帰ってくる子供がいる。
　＊その際、すべって怪我をした事もある。
・大和田の通学路（稗原から飯坂線の踏切）と、共選場から稗原までの通学路、朝夕の通勤時間はスピードを出す車が多い。ゾーン３０にはならないか？
・中学生は部活のため帰宅時間が遅いので、一人で帰らない様に同じ地区まとまって帰宅させる様配慮や工夫をして欲しい。
・地域の方々にも夕方買い物等に出る時は、出来るだけ通学路を通っていただきたい。また、下校時刻に庭先に出るなどして、子供達を見守って欲しい。
・スマートフォン・タブレット・ゲーム機の使用について
　親がフィルタリングをかけて、不適切な内容の物は使用させない。また子供と良く話合って使用時間やルール作りをする。
・育む会は、先生・父兄・地域の方々にとって時間や手間をお掛けするが、それ以上に子供達の健全な成長や安全を守る上で大切な会ではないだろうか。子供達の清浄な魂を育てるために、地域をあげて子供達を育てる必要がある。

【Ｃグループ：平田・六角・遠東・八龍・八桜町内会】
・びっくりドンキーの信号機周辺、中学校周辺の車の飛び出しが多い。轢かれそうになる等危険である。
・現在、子供のたまり場は見受けられない。
・平穏な町内の雰囲気ではあるが、ネット社会に移行しており問題が表面化していないだけではないか？家の中での状態を親がしっかり管理する必要がある。
・自転車の乗り方、スタントマンを利用した交通安全指導は小学生にも効果的だと思う。
・意見を出しっぱなしにするのではなく、後のフォローをしっかり取り組む必要がある。
　⇒今回のアンケートで取り上げていきたい。

【Ｄグループ：鯖野東部・鯖野西部】
・低学年の子を高学年の子が登校時お世話をしている。
・子供達は元気よく挨拶しているが、おじいちゃん・おばあちゃん世代は子供に声をかけて良いのか迷う時がある。特に知らない子には挨拶しにくい。
・学校としては、知らない人には答えないように指導しているのか？
　＊学校側の回答⇒・子供達には、地域の人に自分から挨拶する様に話してあるが、難しいところもある。
　　・子供達の反応が悪ければ、いつでも連絡して欲しい。
・９・１０月にレディース隊で小学校の下校時間に巡回する。
・医王寺第２駐車場近くの信号機が、街路樹で見えない。
・歩道も根が盛り上がっていて危ない。
・横断歩道があるが、信号無視をする車が多く、子供達が大変危険。

【Ｅグループ：沼前・福内・井野目・曲屋・森・久保町内会】
・夏の下校時、自宅までの道のりが長いので、水分が足りなくなることが多い。昔は途中の家でもらったりしていたが、時代なのか今はそんな事は出来ない。

・ゲームの時間について⇒各家庭での約束作り
最近ではすぐネットにつなげるので、そこが心配。小・中学生のスマホ　学年が上がると増える。
・十六沼体育館の裏側　大笹生と平野の境目に、平野側に３ケ所街灯設置の要望。
・井野目の共同墓地（暗いので）街灯設置の要望。
・フルーツライン　飛ばす車が多いので横断歩道の設置（増やす）
・子供の通学路　通学時間と通勤時間が重なるので、赤信号無視が多い。
・沼前町内会分の街灯要望は、受理済とのこと。

【Ｆグループ：東原・北原・平野田園町内会】
・登下校中の児童に挨拶をするが、小学生も中学生も挨拶を返さない。「挨拶はするんだぞ」と声をかけるが、それでも返してこない事が多い。
学校では指導していると言うが、実際は挨拶が出来ていないため、改めて挨拶が身に付くよう、その大切さを指導して欲しい。
・以前は長寿会の方が学校と連携して、下校時間に合わせて横断歩道に立ち見守隊の活動をしていたが、協力者が高齢だったため「子供より自分たちを見守って欲しい」との意見でなくなってしまった。高齢者に頼るのではなく、他に方法はないか・・・
⇒地域の運動会に多くの方が集まるため、その機会に校長先生から見守り隊への協力を求めてはどうか？
・小学校入口の押しボタンのある横断歩道で、緑のユニフォームを着用した２名の方が立っている。学校側は把握しておらず、自主的に児童の見守りをしてくださってるのではないか。自主的に協力してくださる方がいるのは喜ばしい。今後学校側でどなたが協力して下さっているにかを確認する。
・東原の集団登校の集合場所は、元セブンイレブンがあった駐車場であるが、そのテナントに会社が入ったようだ。集合時間と従業員の出勤時間が重なり、車の出入りで大変危険である。
元々の集合場所は他所であり、震災後　線量が高い理由で今の集合場所に移った。安全面を考え、元の場所に戻したいが、除染が進まない上、いつ終わるのかも見通しがつかないため心配だ。

【Ｇグループ：古舘・石橋・恵西・篭内・舘原田町内会】
・中学生のカバンに反射材はついているが、冬場暗くなってからの下校になると、服装の色も暗いため見えにくく危ない。車や自転車を運転している人からもすぐに確認できるよう、もう少し反射材をつけるなど工夫をして欲しい。
・自転車の乗り方について学校でも指導をして頂いているが、まだまだ子供達は理解しないまま運転をしているので危険。
子供会やＰＴＡの方で自転車教室を開き、危険箇所を一緒に回って子供達に伝えるなど、もっと安全に自転車を運転できるように指導するべきではないか。（ヘルメット着用の徹底も）
・中学生で学校の帰りに友達の家で遊んでから帰る子がいるが、家の人は分かっているのか。
一度家に帰ってから遊ぶよう、学校と家の方からもう一度指導を。

【Ｈグループ：石堂・平野団地・生協団地・江添団地町内会】
・母の会の中島さんより⇒母の会では危険箇所にストップマークを貼っている。
必要で希望があれば提供しますので、遠慮なく申し出て下さい。
・飯坂街道と１３号線の交差点は、左折・直進車線がわかりづらい。
自転車用の横断歩道があるが、白線が薄くなっているし、歩道橋があるので車の方は気にしていない様で危険。

・ベニマルのところは、横断歩道はあるが、渡りたくてもなかなか渡れない。
・江添は子供が少なく、子供の話題も少ないため、特に問題はない。
・石堂地区は、新しい住宅が増えているが、町内会や子供会に入ってもらっているので心配ない。
・小学生の下校時に、飯坂線で遮断機がないところで、電車を止めたことがある。

【全体会：鈴木正実市議会議員様より】

キーワードは〝見守る・あいさつ”

地域の人は子供達を見守っているよ、ということを子供にきちんと伝えながら、そのことをわかる子になるように！

挨拶は、子供達がしなくても、大人から声をかけるのが望ましい。

来年度以降、小・中一貫校のモデル校になる計画もあります。安心ネットワークもできておりますし、モデル地区になる様にしていきたいですね。

除染については、飯坂地区に仮置場が出来ます。通学路・側溝を第一に実施していく予定になっています。

【アンケートについて】

開催方法等、一部問題や検討・改善する必要があるかとは思いますが、全体的に有意義であった、との回答をいただきました。

＊子供達を取り巻く環境と現状での心配事では、

スマートフォンの普及・地域としての結びつきの希薄化・遊び場や遊び相手の減少

が、多く挙げられております。

＊会の感想としては

情報を集約しやすくて良い。
子どもの成長を中心として、地域の課題を話し合えるのは大変貴重！
互いの顔がわかる地域づくりを継続していくべき。
一番参加しなくてはならない保護者が少ない/学校・地域・役員に任せすぎ。

などのご意見を頂戴しております。

今後、アンケートのご意見を参考にさせていただき、より良い「育む会」の形にしていければと思っております。

ご協力ありがとうございました。

３．小・中学校ＰＴＡ取り組みについて
（「平野地区子どもを育む会」の意見・要望を踏まえて）

〇危険個所について

小学校ＰＴＡが主催し「危険個所点検」を行っております。

毎年7月に北警察署、防犯協会など各団体と共に小中学校ＰＴＡが主体となり、育む会で頂いた意見を参考に点検を実施しております。またその際に警察署で対応できる箇所は、要望事項として検討・対応して頂いております。

それ以外に、自治振興協議会を通して福島市へ提案書を提出しております。

２８年度の提案内容は

① 山ちゃん通り道路箇所に路面標示、カラー舗装の実施。
② ＪＡ平野共選所付近の飯坂街道信号機、飯坂電車踏切の待避所設置。
③ 平野字恵名持前（えなもちまえ）地内　佐藤畳店付近に横断歩道の追加
④ 平野駅隣の末永酒店がある飯坂線側と飯坂街道の信号機の間隔が狭く、信号や踏切待ちに使う待避所がほとんどなかった為、２年ほど前に信号機の位置を移動しましたが、危険性に問題があるのでガードレールの設置を要望。

市からの回答として、

①交差点カラー化して一部実施しました。残りは、２９年度以降に計画予定です。
②利用状況等を見極めながら、ガードレールの必要性や交通安全対策を検討して参ります。
③横断場所は追加しない方針です。交差点をカラー舗装にしました。
④利用状況等を見極めながら、ガードレールの必要性や交通安全対策を検討して参ります。

提案箇所は、ご存知のように児童・生徒の通学や住民の方など多くの人が利用する道路、交差点で大変危険な箇所です。
交通事故を未然に防ぐための抑止効果を高める対応を要望しております。

また、各町内会からも交通安全、危険箇所、防犯等に関する提案書を、自治振興協議会を通して福島市に提出しております。

〇防犯面について

不審者対策としては、「子ども１１０番の家」の協力依頼、周知徹底、メンテナンス、
大型看板の設置に力を入れ、被害を未然に防止できる様に取り組んでおります。
また、緊急連絡網を整備し、いざという時に備えております。
子供達の非行、防犯対策としては、夏休み期間中の夜間巡回パトロールを実施しています。
インターネット犯罪等の対策としては、福島市ＰＴＡや、飯坂方部ＰＴＡの主催するセミナーに積極的に参加し、ＰＴＡの資質向上や子ども達に教える等の対応をしております。

〇生活態度、あいさつ等について

あいさつ運動を、朝の登校時に実施しております。（２学期始業日より１週間）
下校時の歩行態度については、学校が中心となって交通指導を行っております。
今後も定期的に、学校・家庭で指導していくよう務めてまいりたいと考えております。